

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	今の現状では体調の安定している方が多いが、これから重度化したり終末期を迎えた方が出てきても、あわてずに対応できる体制を整えておきたい。	体調急変時も慌てずに全職員が対応できるよう勉強会や研修で知識を蓄えておき、終末期を迎える方が出てきても対応できる体制を整えておく	看取りや医療関係の研修会や勉強会には多くの職員が参加して知識を蓄えておく。その情報を全職員に共有できるようにしていく。また主治医の先生と往診時や通院時に報告連絡相談を密にしておく。	6ヶ月
2	11	職員の意見や提案を聞く機会をさらに増やしていきたい	会議やミーティング、申し送り時以外でも意見や提案ができる場を増やす	勤務日数の少ない職員でも相談や意見が言いやすいように面談などの機会を設けたり、アンケートを定期的に設けて、働きやすい環境づくりに努める。	6ヶ月
3	48	入居者の皆様が、更に意欲的に家事や調理などのお手伝いを、それぞれの力に合わせて日々行っていけるようにしていきたい	毎日行っている家事などの手伝いやレク活動がより楽しく意欲的にできるようにする	どんな活動が各入居者の皆様がいきいき行っているか職員全員で観察しミーティングを行い、より良いホーム内での役割ごとを増やしていく。また、レク活動、学習療法や音楽療法などの勉強会に積極的に参加し、職員の知識を増やしていく	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月